



64%

中間報告
選挙公約の達成状況

令和5年 粕江市議会議員選挙から2年が経ちました。
ちなみに市議会議員の任期は4年です。つきましては、
三宅まこと3期目の選挙公報(↓)でお約束した

5つの政策に関して現状での中間報告として
進捗状況を自己採点しました。結果、達成状況は64%
と道半ばであります。詳しくは裏面に記しております。

「選挙で言ったことをちゃんとやっているのか」とお叱り
を受けないように、未達成のお約束に関しては、残りの
任期でしっかりと取り組んで参りたいと思います。

令和5年粕江市議会議員選挙 三宅まこと選挙公報

2019選挙公約

「市民が誇りを持つ粕江市」の実現
三宅まことが議会で提案した、ほこみち
(道路空間の利活用)により、粕江駅前緑地
を活かした人々の賑わい作りが事業化
(令和5年度より実施)

「ほこみち」
って何?
解説動画

105チャレンジ

市内ポスター105箇所の掲示板
をすべて回って街頭演説中!



三宅まことの政策、詳しい説明は選挙ビラで!
ホームページからご覧になれます。三宅まこと

プロフィール 故 三宅久之のDNAを引き継ぐ

立教大学経済学部1987年卒業後、(株)東急エージェンシー入社、以来27年間、
営業職として人と人のコミュニケーションの大切さ、難しさを学ぶ/2015年の粕江
市議選で初当選、前回選挙では2,787票をお預かりし、トップ当選。現在2期目。

市民と共に創る プラス5大政策

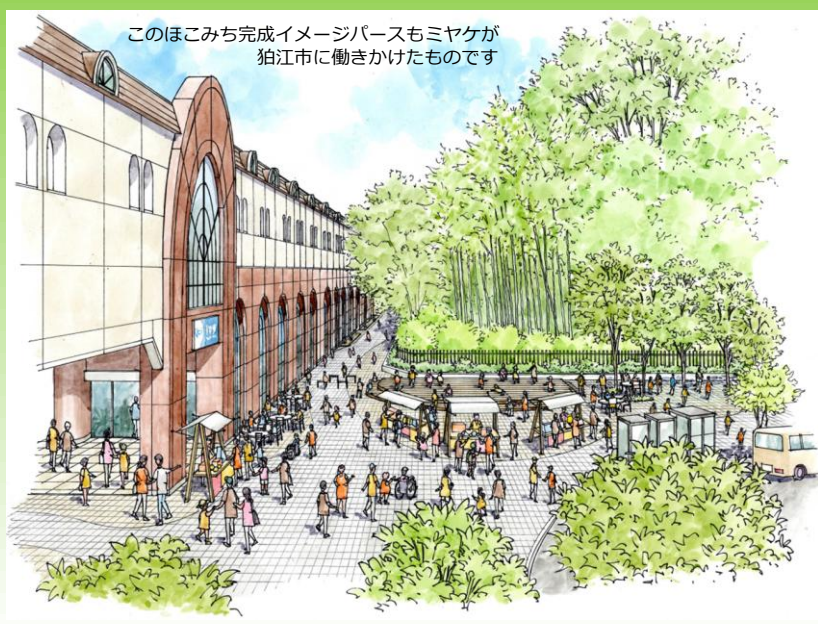
- 1 粕江市教育の特長は市民のチカラで
子どものスキルを伸ばす粕江
- 2 市民の夢を叶えるステージづくり
市民が活躍できる公共空間利活用
- 3 コンパクトな粕江のショーケース
持続可能を体現するシン市民広場
- 4 慈恵健康推進センターと市の協働を支援
新しい慈恵と共に健康な粕江へ
- 5 公共施設再編、市内公立校のプール統廃合
旧四小跡地に温水プール



三宅まこと

58歳 無所属





このほこみち完成イメージパースもミヤケが
粕江市に働きかけたものです

2019選挙公約
「市民が誇りを持つ粕江市」の実現
三宅まことが議会で提案した、ほこみち
(道路空間の利活用)により、粕江駅前緑地
を活かした人々の賑わい作りが事業化
(令和5年度より実施)

市民と共に創る
プラス5
大政策

令和元年(2019年)ミヤケ選挙公約は「市民が誇りを持つ粕江市の実現」。令和3年議会でほこみち(歩行者利便増進道路)を粕江市に提案、翌年に事業が予算化され、粕江駅北口こまえのほこみち実現への道筋をつけました。

令和5年(2023年)の選挙公約ではプラスして“市民と共に創る5大政策”を打ち出しました。5項目それぞれを20点の配点とし、達成度合いを下記の通り自己採点いたしました。

1 粕江市教育の特長は市民のチカラで 子どものスキルを伸ばす粕江



子どもたちの無限の可能性を伸ばしてあげる環境づくりが必要です。国が定める学習指導要領をベースに粕江の独自価値や市民の皆様のアイデアをプラスすることで、子どもたちの“やる気スイッチ”を入れる具体的施策に取り組みます。

進捗度
20×50%
=10

主な取り組みは、「中学校の部活動地域連携」の市教委の取り組みを加速化させること。他に粕江市公立学校の英語特区構想の可能性を探っています。



2 市民の夢を叶えるステージづくり 市民が活躍できる公共空間利活用



コロナ禍を経て、ダブルワークやリモートが普及してきた中、地元の公共空間でスモールビジネスを始めてみませんか。ミヤケが進めてきた粕江市のほこみち事業は令和5年度から道路工事がスタート、令和6年度から本格運用、あなたの夢を粕江の公共空間が叶えます。

進捗度
20×95%
=19



自身満々にミヤケはコレをやりましたと言える“こまえのほこみち”。現在は一般社団法人こまえまち未来ラボの取り組みのご意見番をしています。

3 コンパクトな粕江のショーケース 持続可能を体現するシン市民広場



市役所隣の市民センターは令和7年11月にリニューアルオープン予定。一階にはカフェや子ども向け図書スペースができますが、併設される市民ひろばもオシャレにリニューアルすべきと市に提案中。コンパクトシティ粕江ならではの持続可能なひろばを提案していきます。

進捗度
20×85%
=17

まもなくオープンの新市民センター。併設する市民ひろばをデザインされた使いやすい広場にすべきと令和4年第4定例議会で市に提案、もうすぐお披露目です。



4 慈恵健康推進センターと市の協働を支援 新しい慈恵と共に健康な粕江へ



地域基幹病院である慈恵第三病院が2026年にリニューアルオープン。病院が目指すのは、地域住民のための健康推進事業。司令塔となる慈恵健康推進センターと粕江市、及び粕江で活躍される様々なプレイヤーとの連携を深めるサポートをしています。

進捗度
20×30%
=6



粕江市の地域基幹病院である慈恵医大西部医療センター(慈恵第三病院)。市の健康推進事業との連携をいろいろ探っている最中ですが、道半ばです。

5 公共施設再編、市内公立校のプール統廃合 旧四小跡地に温水プール



15歳未満人口比率が相対的に高い粕江市も、いずれは少子化局面に立たされます。公共施設の稼働率という概念で考えると公立校10校のプール稼働率はわずか1%。莫大なコストがかかるプールを、コンパクトシティ粕江の優位性を活かして一か所の温水プールに集約します。

進捗度
20×70%
=14

旧4小跡地に温水プールが建設されることは粕江市基本計画で今春に決定。あとは、活用度合い/経費効率の低い公立校プールの統廃合を進めていきます。



令和7年夏現在、三宅の選挙公約達成度合いは10+19+17+6+14=64となりました。

